

## 令和５年度 平野区区政会議（５月）全体会 会議録

### 1 開催日時

令和５年５月２９日（月） １９時００分～２１時００分

### 2 開催場所

コミュニティプラザ平野（平野区民センター）大ホール

### 3 出席者

（区政会議委員）１８名

稲田委員、浦崎委員、應矢委員、大澤委員、岡本委員、梶浦委員、日下委員、  
黒田委員、是松委員、高上委員、田中委員、田部井委員、鶴澤委員、橋本委員、  
福本委員、松野委員、三井委員、湯浅委員

（平野区選出市会議員）４名

永井議員、永田議員、松田議員、吉見議員

（平野区役所職員）２２名

武市区長、板橋副区長、立本安全安心まちづくり課長、  
奥田まちづくり推進担当課長、塩野企画調整担当課長、  
京極安全安心まちづくり課長代理、丸山防災企担当課長代理、  
辻まちづくり推進担当課長代理、小山保健福祉課長、小林地域保健担当課長、  
塩田生活支援課長、澤井保健福祉課長代理、植山地域担当課長代理、  
小野保健副主幹、堀川子育て支援担当課長、樋口政策推進課長兼教育担当課長、  
安井総務課長、星野政策推進課長代理、尾崎こども家庭担当課長代理、  
伊勢こども見守り担当課長代理、齊藤保健副主幹、松元総務課担当係長

#### 4 議題

- (1) 令和4年度 平野区運営方針の評価（振り返り）について
- (2) 長原駅前開発事業予定者の決定について

#### 5 会議内容

##### ○司会（小西政策推進課担当係長）

それでは、ただいまより区政会議を開催いたします。

皆さん、こんばんは。本日はお忙しい中、また、お足元が悪い中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

私は司会を務めさせていただきます平野区役所政策推進課の小西でございます。よろしく願い申しあげます。

それでは、開会にあたりまして、区長の武市よりご挨拶申し上げます。

##### ○武市区長

皆様、こんばんは。区長の武市でございます。

本日は、大変雨の降る足元の悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今回の区政会議では、議題にありますように、令和4年度の平野区運営方針の振り返りということになります。区役所の説明がございますが、皆様の意見交換の時間をできるだけ確保したいと考えております。振り返りということでございますので、委員の皆様から評価シートや、区役所の令和4年度の事業についての忌憚のないご意見をいただきたいと思いますと考えております。限られた時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

##### ○司会（小西政策推進課担当係長）

続きまして、本日ご出席の皆様と関係者の紹介でございますが、お配りしておりますA3両面の平野区区政会議委員及び関係者名簿をご覧ください。

表面が名簿、裏面が座席表となっております。委員の皆様及び区役所職員の紹介につきましては、大変恐縮ではございますが、こちらの名簿をもちまして紹介とさせていただきます。

続きまして、本日オブザーバーとしてご出席いただいております市議員の方々をご紹介させていただきます。

永井広幸議員でございます。

**○永井広幸議員**

ありがとうございます。ご苦労さまです。よろしくお願いします。

**○司会（小西政策推進課担当係長）**

永田典子議員でございます。

**○永田典子議員**

こんばんは。お世話になります。よろしくお願いいたします。

**○司会（小西政策推進課担当係長）**

松田まさとし議員でございます。

**○松田まさとし議員**

こんばんは。よろしくお願いいたします。

**○司会（小西政策推進課担当係）**

吉見みさこ議員でございます。

#### ○吉見みさこ議員

こんばんは。お忙しい中、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

#### ○司会（小西政策推進課担当係長）

なお、本日、杉村幸太郎議員、田中ひろき議員におかれましては、所用のためご欠席でございます。

続きまして、傍聴者などのご報告ですが、本日の傍聴並びに報道機関の取材等はありません。

それでは、次に、本日使用する資料の確認をさせていただきます。資料右上に番号を付けております。事前に送付した資料として、【事前資料１】から【事前資料４】がございます。また、当日の配付資料として、机の上に【当日資料１】から【当日資料３】を置いております。なお、当日資料２、令和４年度平野区運営方針（評価シート）につきましては、事前送付資料２と同じものになります。こちらは、本日提出用として改めて配付させていただいております。資料の不足等がございましたら、お近くの事務局職員までお知らせください。

それでは、ここで本日のタイムスケジュールについて、簡単にご説明させていただきます。まずは、次第のとおり、区役所から今回の議題であります令和４年度平野区運営方針振り返り及び長原駅前開発事業予定者の決定についてを約３０分程度でご説明させていただき、委員の皆様にご評価いただきます。

次に、各グループに分かれて、この令和４年度平野区運営方針振り返りを踏まえて、評価や今後について意見交換を行っていただきます。小グループは移動、休憩も含めて約５０分程度を予定しております。その後、再び今のお席に戻っていただき、全体会を再開します。この場では、各グループで出たご意見などをご報告していただ

き、それを基に皆さんで議論をいただければと思います。終了は21時を予定しておりますので、円滑な進行にご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、会議中は、換気のため扉を開放した状態で行いますことを、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

それでは、ここから岡本議長に議事進行をお願いします。

最初に、会議の成立及び会議の公開について、ご確認をお願いいたします。現在の出席委員数は18名です。

よろしくお願いいたします。

#### ○岡本議長

失礼いたします。岡本です。よろしくお願いいたします。

平野区区政会議は、委員定数の過半数の出席をもって会議が有効となるところです。本日は、委員33名中18名のご参加をいただいておりますので、本会議は有効であることをご報告いたします。

この会議は録音され、後日、会議録が公開されます。

また、限られたお時間の中、多数の委員の皆様にご出席いただいております。会議の円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。

続きまして、本日の議題となります令和4年度平野区運営方針の振り返り及び長原駅前開発事業予定者の決定についての説明でございます。

こちらについては、区役所よりご説明をお願いいたします。

#### ○樋口政策推進課長

それでは、平野区役所政策推進課長の樋口と申します。

令和4年度の平野区運営方針振り返りについて、まず、ご説明いたします。座って失礼いたします。

まずは、昨年度の平野区運営方針についての自己評価につきまして、【事前資料3】令和4年度平野区運営方針の振り返り【概要版】を用いて説明させていただきます。委員の皆様には私の説明内容を踏まえて、評価シートのご記入をお願いいたします。ご記入いただく評価シートは、本日、改めて配付させていただきました右上に【当日資料2】と記載しております横長の令和4年度平野区運営方針評価シートという用紙になります。説明は評価シートの設問の順にさせていただきますので、その内容を聞きながら、順次、評価シートの各評価欄に丸を付けていただきますようお願いいたします。なお、会議の最後に評価シートを回収させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずは、この後、説明する各取組の実績と指標の達成状況などが、経営課題ごとのめざすべき将来像や各取組のめざす状態の実現に有効であったかどうか評価させていただきます。次に、その各取組を総合的に見て、経営課題としての評価をしていただきます。各項目について説明を聞きながらで結構ですので、評価シートの右側にある評価欄、思う、やや思う、あまり思わない、思わないのいずれか1つに丸をお願いいたします。なお、右上の氏名欄に委員のお名前をご記入いただきますよう、まずお願いいたします。

全ての経営課題について丸付けが一通り終わりましたら、評価シート右端の部分に重点という欄がございます。令和6年度、来年度の運営方針策定に向けた参考にさせていただきたいと思いますので、平野区が重点的に取り組むべき項目につきまして、最大3つまで丸をお願いいたします。なお、この項目は令和4年度を取組をベースにしておりますので、これ以外にも、来年度、令和6年度に重点的に取り組むべきと思われる取組等がございましたら、一番下の総合評価の評価理由欄、記入欄にご記入いただいても結構ですし、後半の意見交換会で、また、ご発言いただいても結構です。

最後に、昨年度、令和4年度における平野区を取組全体を総括し、その内容が総合的に見て、区の目標の実現に有効であったかどうか、総合評価の欄に評価をしてい

たきます。

それでは、【当日資料 2】の評価シートをお手元に置いた状態で、【事前資料 3】令和 4 年度平野区運営方針の振り返り【概要版】をご覧ください。

まずは、めくっていただきまして、2 ページには運営方針の各項目の前提となる区の目標と、3 ページ以降の取組全般を踏まえた今後の改善方向を記載しておりますが、こちらは最後に改めて説明させていただきます。

それでは、3 ページをご覧ください。

令和 4 年度の運営方針で重点的に取り組んだ経営課題の 3 つを記載しております。経営課題 1、地域に応じた安全・安心のまちづくり、経営課題 2、すべての人と人がつながり支えあえる福祉のまちづくり、経営課題 3、こどもが元気で育つまちづくり、これら 3 つのそれぞれのめざすべき将来像に向けまして、右側に記載しております、合計 9 つの具体的取組を進めてまいりました。

では、次の 4 ページから経営課題ごとに説明させていただきます。4 ページをご覧ください。

経営課題 1、地域に応じた安全・安心のまちづくりのうち、まずこのページでは、防災について具体的取組を説明させていただきます。防災については、めざす状態を防災リーダーが中心となり、自主防災組織による主体的な取組を実施することにより、防災意識の普及啓発に努め、地域住民が防災に高い関心を持っている状態といたしまして、数値的な面で言いますと、昨年度、区民 3, 0 0 0 名に対して、無作為抽出で行いました区民モニターアンケートにおいて、防災意識が高まったと感じる割合、これが 7 0 . 8 % となりまして、令和 7 年度までに 8 5 % とする目標を下回っている状況にあります。防災リーダーのスキルアップや地域での防災訓練の実施支援などの取組を進めてきましたが、コロナ禍において訓練等の縮小などが長引いたことにより、防災意識の継続が困難であったと考えられます。今後はコロナウイルス感染症の法的な位置付けの変更を受けまして、訓練等の実施により防災意識の普及啓発にさらに努

めてまいります。

次に 5 ページですが、具体的取組 1－1、地域防災力向上に向けた支援としまして、防災リーダー連絡会議や研修会を開催し、各地域の取組事例の共有や防災知識、技術の向上を図り、消防と連携した地域防災訓練の実施支援を行うことで、地域が主体的に防災活動に取り組むための自助・共助意識の醸成に努めてまいりました。取組実績としましては、コロナ禍により実施内容の制約等もありましたが、写真にあるような学校や地域での防災訓練などに取り組んでまいりました。結果、指標の達成状況としましては、防災の取組を通じて自助・共助の大切さを感じる割合としまして、60%以上の目標に対し、区民モニターアンケートでは94.1%となり、これら取組が防災意識の高まりにつながったものであると考えております。

続きまして、6 ページになります。

防犯につきましては、めざす状態を、地域住民との協働や警察との連携によって、より安全で安心なまちづくりを推進している状態としておりますが、区内の街頭犯罪件数は、令和3年度と比較すると、ほぼ横ばいとなっておりますが、自転車盗の件数が増加している状況です。そのため区民モニターアンケートにて、防犯意識が高まったと感じる割合が62.8%であり、令和7年度末までの目標値であります80%を下回っております。コロナ禍における取組内容の制約により、地域と連携した取組の縮小が余儀なくされましたが、コロナ禍の収束状況を見据えながら、防犯啓発の内容を再検討し、地域の方々や警察と協働して地域防犯力の向上を図る必要があると考えます。

続いて、7 ページになります。

具体的取組 1－2、地域防犯力向上に向けた支援としまして、地域警察等との協働によるパトロールや防犯キャンペーン実施。また、65歳以上の方を対象に、特殊詐欺被害防止機器の無償配付などによりまして、地域防犯力の向上に努めました。取組実績としては防犯カメラの設置、こども110番の家の現地確認、平野警察署及び地

域住民との合同防犯キャンペーンなどを実施いたしました。指標の達成状況としては、区民モニターアンケートにおきまして、防犯啓発やパトロールが犯罪発生抑制に効果があると答えた割合、こちらが61.8%となりまして、目標値80%以上を下回っている状況です。こちらコロナ禍における取組の制約や縮小による影響が出たものと考えられます。

続きまして、8ページになります。

地域活動力向上につきましてですが、めざす状態を様々な人が地域活動に参加し、地域団体間での連携・協働が行われ、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態といたしまして、コロナ禍での活動自粛の長期化により、地域活動協議会の認知度については、大阪市平均とほぼ同程度の47.9%で横ばいの状態にあります。コロナ禍におけるボランティア離れが顕在化しており、地域状況を的確に把握しながら、活動の円滑な再開に向け、必要な助言や支援の必要があると考えております。

次の9ページ、具体的取組1－3です。

地域活動力向上に向けた支援としましては、コロナ禍による活動自粛の影響から、十分な情報発信は困難でしたが、感染防止対策を取りながら実施している事業を紹介するほか、地域活動協議会に対する会計処理や広報紙の創刊など、自律のに向けた支援を行いました。取組実績としては、中間支援組織とともに広報紙やInstagramなどで地域活動協議会の広報活動を支援し、また、財政的支援のほか中間支援組織を活用して、会計処理や広報活動など、自立に向けた支援などを行い、指標の達成状況といたしましては、地域活動協議会を知っている方のうち活動内容を知っている割合、こちらが目標値40%以上のところ、57.5%となりました。今後もより一層の認知度アップにつながるよう、取組を続けてまいりたいと考えております。

続きまして、10ページ。

まちの魅力向上についてですが、めざす状態を区民ニーズ等を踏まえた未利用地の

有効活用の方向性に基づき、まちの魅力の向上に取り組んでいる状態といたしまして、区民モニターアンケートでは、平野区に住み続けたいと思う割合が81.5%となり、上昇傾向となっております。

次の11ページ、具体的取組1－4、まちの魅力の向上に向けた未利用地の有効活用としましては、区内未利用地の有効活用を図るため、区民が参画した場やアンケート等において、区民ニーズの聴取を実施いたしました。今後も、引き続き区民ニーズの把握を続けながら進めてまいりたいと考えております。また、令和4年度に長原駅前用地の開発事業予定者が決定いたしましたので、概要につきましては、この後、担当からご説明いたします。

まずは、ここまで走ってまいりましたが、経営課題1、地域に応じた安全・安心のまちづくりの説明とさせていただきますので、順次、評価シートの記載をお願いいたします。

そしたら、評価シートを付ける時間、また確保いたしますので、引き続き次の説明をさせていただきます。

12ページになります。

12ページの2つ目の経営課題2、すべての人と人がつながり支えあえる福祉のまちづくりにつきましては、こちらのめざす状態を地域の実情に応じた地域支援体制が有効に機能しつつ、認知症や障がいのある人などの様々な状況に対する理解を深めながら、区民がつながり支えあい、住んでいる地域で健やかでいきいきと暮らしている状態としておりまして、数値的なことと言いますと、困りごとや悩みがあるときに相談できると感じる、肯定的な回答の割合は目標値を上回っている状況です。しかしながら、一方で否定的な回答の多くは、相談できる人や場所を知らないというものであることから、全ての人が地域で孤立することのないよう、取組を充実させていく必要があります。

次の13ページ上段をご覧ください。

具体的取組 2－1、各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の充実としまして、地域福祉のネットワークづくりを行うため、地域福祉活動コーディネーターの育成や地域での見守りに関するノウハウの蓄積など、区社会福祉協議会と連携し、地域支援体制の充実を図りました。取組実績としましては、各地域の課題抽出や分析をした上で、地域の福祉活動への支援などを行い、指標の達成状況としましては、地域活動への参加者アンケートにおきまして、お住まいの地域で緩やかな見守りや相談活動が行われていると感じる割合が 85.8%となりました。

また、下段の具体的取組 2－2、地域における支えあい活動への支援としましては、認知症予防の理解や健康寿命延伸を目的とした運動習慣などの取組支援を行い、地域において、その方らしく暮らし続けることができるように努めてまいりました。取組実績としては、地域におけるいきいき脳活サポートマニュアル等を用いた取組でありますとか、いきいき脳活検討会、いきいき百歳体操などを実施いたしまして、同じく参加者アンケートにおいて、認知症予防啓発の取組において、認知症についての情報を得て、自ら取組に参加したいと感じた参加者の割合、こちらが目標値 70%以上のところ、73.9%となりました。各取組においての指標は達成しておりますが、コロナ禍により一部実施が困難な状況もあったため、今後は IT などの技術、新たな手法を取り入れた講座開催なども検討しまして、支援の必要な方が地域で孤立することがないように、様々な地域福祉の担い手の皆さんとも地域の自主的な取組を支援、推進して促進していく取組を進めてまいりたいと考えております。

経営課題 2、すべての人と人をつなぎ支えあえる福祉のまちづくりにつきましては以上でございますので、また、順次、評価シートの記載をお願いいたします。

では、続きまして、14 ページになります。

次の経営課題 3、こどもが元気で育つまちづくりにつきましては、めざす状態を、こどもが「生きる力」を身に付け、自ら大人や友達と関わりを持ち、育つことができる状態。また、すべてのこどもが適切な環境で養育される状態といたしまして、取組

を進めてまいりました。数値的には、全国学力学習状況調査の生徒への質問におきまして、学校に行くのは楽しいと感じる割合につきまして76.4%となり、また、こどもサポートネット支援対象者件数は323件と、いずれも目標を上回る結果となりました。今後も、こどもたちへのモチベーションアップにつながる取組や、状況に応じた相談支援などを引き続き行っていく必要があると考えております。

次に、具体的取組ですが、15ページをご覧ください。

具体的取組3-1、児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援といたしまして、子育て支援者のスキルアップ講座や地域連携会議など、児童虐待を未然に防ぐ体制の強化を図るとともに、親の孤立につながらないよう、子育てについての相談やイベント情報の発信に努めてまいりました。取組実績としましては、子育て支援者対象のスキルアップ講座開催、ホームページやLINE等による子育てに関する情報発信の充実、地域連携会議の開催などを行ってまいりました。指標の達成状況につきましては、子育てに必要な情報を入手できていると感じる、子育て世代の保護者の割合、こちらが48.9%と目標値を下回る結果となりました。コロナ禍により一部の講座等が開催できなかったことも影響していると思われませんが、今後は、子育て世帯にとって身近なツールでありますLINEでのプッシュ型情報発信を強化するなど、より効果的な情報発信に努めてまいりたいと考えております。

次に、16ページです。

具体的取組3-2、こどもの学習意欲の向上といたしまして、読書習慣の定着や表彰されることによる達成感、モチベーションアップなど、こどもたちの学習意欲向上につながるよう努めてまいりました。取組実績としましては、読書ノートを区内の幼小中の児童生徒に配付いたしまして、一定水準を超えた児童生徒への表彰や、地道な活動等を行っているがんばる小・中学生に対して表彰を行いました。指標の達成状況については、大阪市学力経年調査において、読書が好きと答えた割合が68.6%と目標値には及びませんでした。読書ノートの取組以降は、こどもたちが読書に向き

合う機会が着実に増えておりまして、区長から直接、表彰を受けることができることもたちのモチベーションアップや自尊心とか学習意欲の向上に役立っており、今後も、この取組を継続してまいりたいと考えております。

続きまして、17ページです。

具体的取組3-3、こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援としまして、学校における教育分野と区役所における保健福祉分野を連携し、こどもと子育て世帯が抱える課題に対して、総合的な支援を実施してまいりました。取組実績としましては、こどもサポート推進員が学校と連携し、支援の必要なこどもと保護者に対して総合的な支援を実施するこどもサポートネット事業。また、高校生活の定着や卒業後の自立に向けた生活を支援する事業などを実施しまして、指標の達成状況としましては、こどもサポートネット事業は、目標以上の323件の支援を実施いたしまして、また、高校生などへの個別支援を行った者のうち進級・卒業・転学・単位取得などにおきまして、前向きになった者の割合が88.5%となるなど、おおむね目標値以上の結果につながりました。今後も、引き続きこの取組を進めてまいりたいと考えております。

以上で経営課題ごとの具体的取組などについて説明をさせていただきました。皆様、順次、評価シートの記入をお願いいたします。

3つの経営課題の評価が終わりましたら、評価シート右端部分の重点という欄、来年度に平野区が重点的に取り組むべき項目だというものについて、最大3つまで丸をお願いいたします。また、会議の最後に回収いたしますので、それまでにご記入いただければ結構です。

資料は3ページにお戻りいただけますでしょうか。ここまで区としての重点項目であるご覧の3つの経営課題について説明させていただきました。

最後に、それを踏まえて2ページになりますが、令和4年度における総合的な区の目標としましては、ご覧の3つ、すべての人がお互いを尊重しつつ、つながり、支えあえるまち「ひらの」をめざす。誰もが愛着を持ち、安心して住み続けることができ

るまち「ひらの」をめざす。こどもたちが家庭・学校・地域で育まれ健やかに成長し、次の世代を担っていくことができるまち「ひらの」をめざす。この３点となっております。この間のそれぞれの具体的取組におきまして、コロナ禍など様々な要因もありまして、すべてが順調に実施できたわけではございませんが、地域の方を始めまして、関係各所の皆様のご理解とご協力もありまして、着実に進めていくことができたと考えております。今後につきましても、それらを踏まえまして、将来ビジョンや地域保健福祉計画においても大切さがうたわれているように、これまで以上に人とのつながりは重要性を増してくる。そういったことから、区における様々な課題に対しまして異なる分野の取組を連携、協働することで、その解決を図りながら、各取組を通じ、地域内、地域と区役所など、あらゆるつながりを主体的に醸成し大切にするとともに、これまで培ってきた様々な取組を、広報紙を初めホームページやSNSなど多様なツールを活用して積極的に発信し、次世代につなげる、継承するということで、平野区を笑顔で暮らしやすいまちにすることをめざした取組を進めてまいりたいと考えております。どうぞこれからも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以上で運営方針について、私からの説明は終わりにいたします。

#### ○松元総務課担当係長

それでは、私から長原駅前開発事業予定者の決定について説明させていただきます。総務課担当係長の松元でございます。本来、企画調整担当課長の塩野から説明させていただく予定でしたが、現在、市会の質疑調整のために到着が遅れておりますので、私から説明させていただきたいと思っております。それでは、座らせていただきます。

お手持ちの【配付資料４】長原駅前開発事業予定者の決定についての資料をご覧ください。

これまで長吉地域東部及び長原駅前に関して、区政会議においても様々なご意見を

頂戴いたしまして、今回、駅前の開発事業予定者が決定いたしました。今回、開発事業予定者として決定いたしましたのが、長谷工コーポレーションを代表企業とする5社の事業者からの提案でございまして、土地売却金額は79億5,100万円でございます。

次に、主な開発内容についてですけれども、お手持ちの資料の全体計画をご覧くださいませでしょうか。

横に大阪中央環状線が通っておるんですけれども、その環状線沿いに近い西側の土地については、スーパーマーケットや飲食等の物販テナントを始めとするにぎわい・集客拠点施設を予定しております。また、この中には地域コミュニティを育む長原のまちに新しいライフスタイルを提案する地域に役立つ施設も予定しております。また、東側の土地については、駅前にふさわしいファミリー向けの集合住宅を予定しております。

次に、完成予定についてですけれども、西側のスーパーマーケット等につきましては、令和7年度の開業を予定し、東側の中央住宅については、令和9年度の入居開始を予定しております。提案内容に基づく現時点のスケジュールのため、協議や工事進捗等により変更となる場合もございます。

以上で簡単ではございますが、説明を終了いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○岡本議長

ありがとうございました。それでは、ここで全体会を一旦中断します。事務局の方、ご案内をお願いいたします。

#### ○司会（小西政策推進課担当係長）

委員の皆様には、各項目の評価をしていただいていると思います。先ほどご説明い

いただきました内容についてのご意見、ご質問につきましては、大変恐縮ではございますが、時間の都合もあり、この後のグループ別意見交換会や後半の全体会などでお伺いしますので、その際にお願いいたします。

また、皆様にご記入いただいている評価シートにつきましては、会議の最後に回収させていただきますので、それまでに随時ご記入をお願いいたします。

では、これから皆様には席を移動していただき、グループごとに議論をしていただきます。なお、後半の全体会では、各グループで話し合われた内容を、委員の代表の方から報告していただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

意見交換の場所ですが、安全安心まちづくりグループは、ホール入り口左手のパーティションを設置している机になります。地域福祉グループは、2階の会議室となります。こども教育グループは、前方舞台右側の机周辺ということになっております。

また、各グループに見学席をご用意しておりますので、市会議員の皆様も、よろしければご見学いただければと思います。

なお、移動の際は荷物等、貴重品は各自で管理をお願いいたします。

全体会の再開は、約50分後、現時点で5分ほどこちらのほうが遅れておりますので、再開は20時30分からを予定しております。

それでは、皆様、移動のほうをよろしくをお願いいたします。

(小グループ意見交換会のため一時中断)

(再開)

#### ○司会（小西政策推進課担当係長）

それでは、お時間になりましたので、後半の全体会を再開したいと思います。

岡本議長、よろしくお願いします。

## ○岡本議長

それでは、ただいまより全体会を再開いたします。

本日の前半に、令和4年度平野区運営方針の振り返りについて、区役所より説明がありました。それを基に各グループで具体的取組等についてご議論いただきましたが、その内容について、委員の皆様から出た主なご意見について、代表の委員より順に報告をお願いいたします。

まずは、安全安心まちづくりグループよろしいでしょうか。お願いいたします。

## ○福本委員

安全安心まちづくりグループ、加美地域活動協議会からの福本と申します。

小グループの意見なのですが、かなり活発に意見が出まして、私自身が、もう全然まとめれてないので、羅列になってお聞き苦しいかと思えますけど、一応、発表させていただきます。主に、やっぱり防災のこと、防犯のこと、それから、未利用地とか、そういったことの意見が出たのですが、もうばらばらになるのですが発表させていただきます。

防犯電話という自動通話録音機というのが区役所から貸し出しってというようなシステムがございまして、実際に使われた委員から、実際に取り付けたら、やっぱり数字を把握してるわけじゃないけど、迷惑電話が減ったっていうご意見がございまして、こういういいことは、もっとどんどん宣伝したらいいんじゃないかっていう意見が1つございました。

次に、防災ですが、防災リーダーになったんだけど、日程等の都合で研修会などにやっぱり参加できなかった。だから、もっと機会を増やしてほしい。防災リーダーになれるような方、やっぱり意識が高くて、やってあげよう、やりたい、やりたいということなんですけど、どうやって参加していくかというのであたってるっていうようなところがございまして、ほかにも防災リーダーとして地域でどのような取組が必

要か。これらのこういう方向性とか、こういうのあるよとか、メニューみたいなものを区役所から教えていただければっていうような意見。

それから、他の地区での成功事例なんかを、どんどん展開していったらいいんじゃないかというようなことで、自分とこの宣伝になるんですけど、今月にも防災リーダー100名に対して研修会、今さらですけど、防災リーダーって何なんっていうような研修会を、2日に分けて座学と実技とやったんですけど、やっぱり意識が高くて100名ちょっとの方のうち80名以上参加されてて、もう80%以上来てくれるということで、すごい意識があるので、一体どういうことを展開していくかという方法のところで、今悩んでおられる地区というのは多いということでした。

それから、関連するのですが、地域で夜店だとかお祭りだとか、そういったことがコロナも明けてきて、どんどん再開してくる。この再開してくるお祭り、このコミュニティのつながりが、やっぱり防犯のことにしても防災のことにしても、例えば災害があったときに、あの人知ってるかな、あの人例えば話すのうまいから、あの人に頼んだらいいわっていうようなことで、祭りでつながっていることが、そういったことにも展開できるんじゃないかっていうような意見ですね。そういったことがございました。

あと、委員さんから気付いた点ということで、信号がLED化していないところがあって、暗いところがあるっていう防犯面なのですが、その辺のところは、そういったところを改善するのに、どうしていったらいいんだろうかっていう質問があって、これは区役所さんから、まず区へ言うてきてください。で、CAT隊にまず言うていただいて、どういう事例だというのを、区から今度は警察へ上げてきますのでという指針、回答がありました。

それから、厳しい意見なんですけど、近隣の例えば阿倍野区なんかと比べて、夜間、他の区と比べて暗いところがやっぱり平野区は多くて、何か不気味な。だから、引越したいっていうような娘が言うてるっていうような、そんな意見もあったりして、

これは、まちづくりの道路を緑化して広くしていくような意見とか、それから、こういうできるだけ暗いところがないように、そういうやっぱり安全なまちをめざすために、そういう方向にもっていかないといけないねというような意見がございました。

ちょっとばらばらと意見を述べただけですけど、以上で。ありがとうございます。

#### ○岡本議長

ありがとうございます。

では、次に、地域福祉グループ、よろしいでしょうか。お願いいたします。

#### ○是松委員

地域福祉グループです。長原東地域活動協議会の是松です。発表させていただきます。

ある地域で高齢者のひきこもりやフレイル予防でウォークラリーやスタンプラリーで喜んでいただいたっていうことを聞いたので、ほかにも参加者にポイントを与えるようなシステムがあればいいなと思うという意見が出ました。少しでも高齢者が外に出やすい環境づくりが大事だなと思います。

私自身も、よく日曜に出ていると、やっぱり高齢者の方によく会います。あるとき、ずっと座ってて、なぜかぼんやりしてるなと思って声をかけたら、やっぱり地域には高層が本当にたくさん立ち並んでて、道が分からなくなったということで、私もしばらくそこで一緒にお話をしながら、いろんな方に声をかけたら、やっぱり顔見知りの方がいてて、お住まいが分かったということもありました。なので、時々家を出るのではなくて、やっぱり外に出ることを大事にしなあかなということも思いました。

あと、こども110番の旗、うちの事務局に掲げてるんですけど、ある日この旗を見て、中学生の男の子が血相を変えて、トントンって訪ねてきたんですけど、どうしたのって言ったら、今日は鍵を忘れて、お母さんが7時まで帰ってこないのと一緒に

いてほしいと言われて、いいよ、いいよって。でも、この１１０番知ってたのって言ったら、１１０番は人を助けてくれるところやと思ったってということで、この旗がお役に立ったんやなと思いました。このように高齢者も何かしら助けられる、ここに来たら助けられるというね。そういうところもあったらいいなということも感じました。

あと、ヤングケアラーの問題も、もう課題ですよねというお話とか、また、様々な地域活動にはボランティアさん、また、担い手さんが必要ですけども、本当にそういう担い手不足というか、どんどん減っていないよねという、いろいろやりたいことがあっても、担い手が不足やねということ、最後、いろんな方がお話しされておりました。以上です。

#### ○岡本議長

ありがとうございます。

では、最後にこども教育グループ、よろしくお願いします。

#### ○浦崎委員

失礼します。平野産業会の浦崎と申します。

こどもサポート、こどものこちらのグループでは３点、まず１つは読書ノートを中心にしたお話と、それから、要保護児童に関する質問等を含めて回答がありました。

それと、３つ目に、通学路の件です。

まず、読書ノートについてですけども、こちらの資料の運営方針の振り返りのところにもありますように、学校に行くのは楽しいと感じているこどもの割合が高いのに、カードとして読書カードを提出しているところの読書が好きと答えた割合が目標の７６．５％よりは低いというところらへんで、どうかというお話があったのですが、区役所のからも説明がありましたように、目標の７６．５っていうのは大阪市の全体の目標ということで、かなり高い位置にありますので、内容的には以前に比べても、そ

んなに遜色ないのではないかなと思っています。ただ、もう少しやはり同じようなパターンじゃなくて、現場で活用してもらえるように、工夫や改善が必要ではないかなというお話もさせていただきました。

それ以外にも、低学年が特に読書が好きやと。中高学年になってくると、やっぱり興味が離れていくというお話もありましたので、そのあたりの工夫もこれから必要にはなってくるのではないかなと思います。

2つ目に、具体的取組の3-3のこどもたちへのサポートというところですが、要保護児童の実際のお話の中で、ここには300件以上ということで対応実績が323件とありますが、実際には600人以上の対応のこどもたちがいるというお話がありました。そのことに対して質問としては、どれぐらいの方が区役所で対応されてるのですかと言うと、人数をお聞きして、大体1人当たり20人以上かけないとできない状況っていうのは、かなりやっぱり厳しいなというのは思います。

それ以外にも校長戦略予算というのを以前読んでたのですが、今回は、区長が持っておられるそういう予算についても、こどものサポートとか支援ボランティアの予算を使ってるということで、不登校のこどもたちにも、この区民センターを使って登校する機会をつくったりというふうな取組をされているということで、こういった取組が、特に、この不登校のお話は2小1中で中学校に上がったときに、小学校が違う子同士が集まると、なかなかうまくいなくて、不登校になるこどもさんがあったりもするというお話の中からですが、不登校の課題も出たので、そういうふうな取組も、これからやっていけたらなというお話をしていました。

最後に、通学路の安全対策については、委員の方の中からガードレールなんかが付けられた場合に、それぞれ報告があったりしていますというお話がありました。そちらに関しては、学校を中心に地域のこどもたちの登校を含めた交通安全に、交通事故を防ぐための安全面の調査とかを進めていますという回答がありました。私が個人的にも言ったのですが、以前スクールゾーンというのがあったと思うんですけども、最

近はあまりそれを見かけないなというお話で、あれがあれば7時から9時ぐらいの間に、車が無用に入れないというのがあったと思うのですが、実際には最近、あまり見かけないのでというお話をさせてもらったら、それに関しては、次回、調査していただけるということで、また、次のときに回答が得られればなと思っております。以上です。

#### ○岡本議長

ありがとうございました。

ここからは、先ほどの発表や小グループでの意見を含めて、皆様よりできる限り多くのご意見を伺ってまいりたいと思います。また、前半に区役所より説明した内容への質問なども含めて、どんなことでも結構ですので、忌憚のないご意見をいただければと思います。

ご発言される方は、挙手の上、事務局がお届けするマイクを使って、お名前と何々の件と言ってから、簡潔にお話してください。よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。よろしくお願いいたします。

#### ○田部井委員

田部井と申します。

せっかく今日、市会議員の方が見えているので、若干2点言わせていただきますが、1点目は、今日の議題とは離れていますが、日頃思っていること。何が大事って平野区の魅力を高めて、人が集まるまちにすることが一番大事な視点かなと思ひまして、言えば1つ目は、いつも言っているのですが、地下鉄の千日前線を延伸して平野までつないでほしいという。利便性が高まれば、それだけ人が集まる。

それから2点目は、今日の議題にも上がっていますが、長原の跡地利用の件ですが、これも方針出ちゃって、もう決まっているので、今さらどうすることもできないです

が、これからこのような議題が上がったときには、もっと平野にも文化的な香りのするもの。例えば先ほども出ましたが、大学とか図書館とか、いろいろそういう類いのものを誘致してほしいなと、そういうことに尽力してほしいなと思います。何が違うという、大阪の市を見ても、大阪市の北のほうとか西のほうっていうのは、やっぱりそういう香りのする施設があるんですよね。南のほうの生野だの平野だの、こっちのほうってそういうのがないんですよね。だから、まちの魅力っていうのは、そこら辺から出てくるんだと思います。で、メインの道路は、もっと街路樹を設置したり、美しい街並みをつくると、そういう方向の努力をぜひしていただきたいなと。せっかくお見えになっているので、よろしくお願いいたします。

#### ○岡本議長

とてもすてきなご意見をいただきました。ありがとうございます。

いかがでしょうか。この機会ですので。お願いいたします。

#### ○應矢委員

民生委員協議会の應矢と申します。

最初に説明がありました【事前資料4】の長原の駅前の開発なのですが、2番の提案価格と予定価格がむっちゃ数字が離れてるんですけど、これ、どういう意味でしょうかね。

#### ○岡本議長

数字の件ですね。いかがでしょうか。よろしいですか。

#### ○塩野企画調整担当課長

應矢委員の質問に対してなんですけども、大体2.6倍ぐらいの差があると思うん

ですけども、29億何がしと70億という差があると思うんですけども、それに  
つきましてなんですけど、もともとの金額については、不動産鑑定士さんとかを交え  
て金額を決めた金額、つまり大阪市から予定価格を示された金額。一方、実際の売却  
金額というのは、この土地をどれだけ活用するのにポテンシャルがあるかとかってい  
うことをいろいろ考えた上で、事業者さんが提案を持ってこられて入札した金額とい  
うことで、その差になっております。

○應矢委員

予定価格というのが、売却するときの価格やったんですね。

○塩野企画調整担当課長

29億は売却するときに大阪市が考えていた金額で、実際79億とかっていうのが  
事業者さんのほうが考えて札をいれた金額です。

○應矢委員

出してきた金額というか、売却金額なんですね。

○塩野企画調整担当課長

事業者が札をいれた実際の売却金額です。

○應矢委員

これ、もう3倍ぐらい離れてるんですけど、これぐらい違うんですか。その予定価  
格とその販売価格ね。区にとっては、市にとってはええほうにいつてるから問題はな  
いかなと思うんですけど、あまりにも金額が離れ過ぎてるなと思うんですけどね。だ  
から、最初の予定価格が正解なんかどうかというのは心配な感じですけどね。

○塩野企画調整担当課長

当初の予定金額につきましては、不動産鑑定士さんとかが鑑定した上で、その土地の価格について、いろいろと見た上で入れている金額でありまして、間違いはないと考えています。

○岡本議長

ありがとうございました。

もっとご意見をいただきたいところなのですが、そろそろ予定が迫ってまいりました。どうしてもの方。

じゃ、お一人、よろしくお願いいたします。

○黒田委員

今、聞き取れなかったんですけども、あの20何億というのは、大阪市さんが土地を売却する予定価格やったんですか。そういうこと。

○塩野企画調整担当課長

最初に予定価格というのがあって、売却するときに大阪市内で想定をして算出した金額が29億です。

○黒田委員

で、70何億でしたっけ。

○塩野企画調整担当課長

はい。売却金額が79億です。

○黒田委員

買いますよっていう。

○塩野企画調整担当課長

実際、その今回、決定した事業者さんがこの金額で買いたいということで入札してきた金額です。

○黒田委員

了解しました。

○岡本議長

ありがとうございます。

時間が迫ってまいりましたので、残念ですが、ここでご意見を締め切らせていただきます。

それでは、ここで、鶴澤副議長から、本日のまとめをお願いしたいと思います。お願いできますか。

○鶴澤副議長

皆さん、お疲れさまでした。

各班でご報告していただけてますので、特に僕が何をこれをもってまとめることはないんですけども、最近、地震がまた多いということでね。防災でいろいろと研修とかいうお話も出ました。私、一応、地域包括運営協議会から出させていただいておりますけど、介護保険の事業所の者でもあります。平野区で介護保険事業者連絡会というのがありまして、それで、最近は平野区長と行政の関係者の方と定期的にお話しさ

せていただいてる中で、各地域の防災等に関して介護保険の事業として何かご協力的なことができるのかどうかというお話し合いも今させていただいてます。ここで、まだ細かい決定事項ではないのでお話しすることはできませんけど、そういうので今行政と介護保険の事業所で、地域に何か役立つことができないかいうのも話し合っている段階ですので、また、ひょっとしたら各地域の方にご協力いただくこともあるかもしれませんけれども、その際はよろしくお願いいたします。

それと、もう時間があまり今日はないんですけれども、実績が結構上回ってることが多いんですけれども、上回ってるからいいというものではないと思うんですけれども、区としての1つの目安だと思っておりますけれども、やっぱり中身がどうであるのかということと、あくまでこれ今、振り返りの部分なので、また、来年度以降で新たなことがどんどんまた増えてくる事項も出てくると思うので、そのあたり平野区として、やっぱり臨機応変に早く対応する。いわば地域の方とか我々が言う前に、やっぱり役所として、これは必要であると先頭を切って、やっぱり議題として取り上げていただいたら、もっとスムーズに会が運ぶのではないかなと思いますので、今後とも行政にはよろしくお願いいたします。

簡単であります、終わらせていただきます。ありがとうございました。

## ○岡本議長

ありがとうございます。

では、最後に、本日ご出席の市会議員の皆様からご意見をいただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。

## ○永井広幸議員

市会議員の永井でございます。代表して一言ご挨拶をさせていただきたいと思えます。皆さん、本当にありがとうございました。貴重な意見をいただきましたそれぞれ

の部門でお話をしていただいた共通点は、関わりであるとか、触れ合うであるとか、つながりであるとか、支えあう。こういうことというのは、されているところに、部門については結構目標値より上にあったり、下にあったり、そういうふうなことがあるのかなという共通点があるのではないかと思います。長吉ウェルカムタウンの件についても、皆さんからご意見をいただいて、もう事業者が決定して、これから進んでいくということです。ただ、これが計画を立てて、今までこのウェルカムタウンができるまでも、10年以上たっております。こういうことがこれからの課題点になってくると思いますし、また、ほとんどの土地が東部地域に集まっているという現状でありますので、こういうところの土地利用を、今いろいろご意見をいただいたことを参考に、これは区役所だけでできるものではありませんので、我々もしっかり協力をしながら、今後、進めてまいりたいと思います。この平野区をにぎわいのある活性化をしていく、もう本当に非常にこどもたちも集っていけるような、そういうまちづくりを我々も一助となれるように、しっかりとしてまいりたいと思いますので、今後とも皆さんの貴重な意見もいただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

#### ○岡本議長

ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しします。

皆様、円滑な議事進行へのご協力ありがとうございました。

#### ○司会（小西政策推進課担当係長）

岡本議長、鶴澤副議長、ありがとうございました。

それでは、ここで本日お配りしておりますアンケートについて、政策推進課長、樋口よりご説明させていただきます。

## ○樋口政策推進課長

それでは、本日お配りしております資料の中に、右上に【当日資料3】となっております区政会議に関するアンケートという用紙があると思いますので、こちらについてご協力をお願いいたします。ご回答いただきながらで結構ですので、質問項目についてご説明いたします。

アンケート項目は全部で7つ用意しております。正面、表面からQ1から順番ですね。区政会議での説明内容や配付資料の分量について。また、区役所や委員会で活発な意見交換がなされたかどうか。また、活発な意見交換に向け、どのような課題があるか。また、それらの課題を改善するには、どのような取組や工夫が必要か。委員の皆様からいただいたご意見や要望、評価について適切にフィードバックが行われているかどうか及びそう思われた理由につきまして、選択肢、または、記入欄にご回答をお願いいたします。その他、最後のQ7は自由意見になりますので、今後ともよりよい区政会議にしていくために、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。なお、自由意見の記入などで後日の提出を希望される方は、別途、用紙と返信用封筒をお渡しいたしますので、事務局職員にお声がけください。

私からは以上になります。

## ○司会（小西政策推進課担当係長）

区役所からの説明は以上でございます。

閉会にあたりまして、区長よりご挨拶申し上げます。

## ○武市区長

委員の皆様、市議員の皆様、長時間にわたり、本当にありがとうございました。

各地域協議会並びに各団体の推薦のもとにお越しいただいている委員皆様方につきましては、ぜひ本日の区政会議の内容をそれぞれの団体にお伝えいただきまして、また、それに対するご意見がございましたら、次回以降の区政会議に持ち寄っていただければありがたく存じます。また、本日いただきましたたくさんのご意見ですね。本当にいろんな私たちがやろうとしていることの皆様方は応援団であり、そこを厳しく見ていただいている一番の人たちだと考えております。今後の平野区の運営方針に可能な限り反映できるように区役所も努めてまいりますので、今後とも区政会議へのご協力どうぞよろしくお願いいたします。

**○司会（小西政策推進課担当係長）**

最後に、アンケートと評価シートにつきましては、記入後、名札とともに、そのまま机に置いて帰っていただきますようお願いいたします。

それでは、これで平野区区政会議（５月）全体会を終了いたします。ありがとうございました。

—了—